

熱中症リスクを“見える化”でゼロへ！

～2025年6月施行の義務化に対応した暑さ指数（WBGT）監視ソリューション～

熱中症対策が罰則付きで義務化されました

2025年6月よりWBGT（暑さ指数）28度以上（気温31度以上）の環境で長時間作業が見込まれる場合、事業主に具体的な熱中症対策が義務付けられます（違反時は罰則あり）。まずはWBGT値の測定、監視、データ保持が最優先で重要になります。



WBGT測定・警戒

報告体制・実施手順の作成

作業前の健康状態確認、持病への配慮

暑熱順化・休憩管理



TOPPANの熱中症対策ソリューション

LPWA ZETA通信×WBGT計で広大な倉庫や工場にてリアルタイムモニタリングを実現

1 自動データ収集



センサー無線化により、自動データ収集を行うことで人が巡回して温度・湿度を測定する手間を削減。定時モニタリングで“抜け・漏れ”のないリスク把握をすることが可能に

2 一元管理 トレーサビリティ向上



計測データ(温湿度やWBGT値)を自動的にサーバへ記録。アプリケーションでデータを簡単に確認可能。過去データを容易に検索・出力でき、法令対応のエビデンスにも利用可能

3 アラート機能

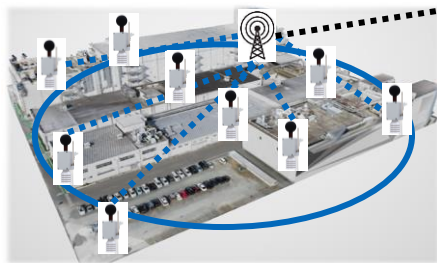


任意の閾値（WBGT 28℃など）を超えると、管理者や担当者へメール通知可能。迅速な作業休止や冷却措置、医療連携を可能に

※写真のWBGTセンサーおよび熱中症危険度表示パネルは、鶴賀電機株式会社製

ソリューション導入後のイメージ

ZETÂ
工場・倉庫にて
自宮ネットワーク
(LPWA ZETA)
を構築
↓
携帯圏外でも
センサーの通信が可能！



WBGTセンサ設置（工場・倉庫・施設の複数地点）
→ LPWA ZETA通信でデータを自動でインターネットクラウドへ送信

クラウド上でデータを保存・記録
→ “WBGT値” “温度・湿度”をリアルタイム自動記録
複数拠点の環境監視も簡単に



管理者PC・スマホで温度モニタリング・アラート受信
→ 作業分担・休憩指示などを迅速に実施

お問い合わせ・導入相談

TOPPANデジタル株式会社

事業開発センター LOGINECT事業開発部 ZETAソリューション開発チーム (e-mail: e-platch-td@toppan.co.jp)